

R3.10.1 - R4.2.28

おしえて！ オノマトペ

音や様子を **ズバツ** と伝える魔法のことば

入館無料

※ 開館時間・閉館日は、附属図書館に準じます。
ご来館の際は、附属図書館ホームページをご確認ください。





音や様子を **ズバツ** と伝える魔法のことは

「オノマトペ」は「擬音語・擬態語・擬声語」などの総称として使われる言葉です。時には「象徴詞」との言い方もされました。音声の持つ語感が脳に働きかけてイメージを喚起させる「音象徴」という現象に基づいています。

日本語のオノマトペは4000語ほど、他言語の3~5倍あるともいわれます。種類の少ない日本語動詞のバリエーションを補うために進化してきたと考えられます。例えば、英語や中国語などでは動詞一語で表現されるところを、「オノマトペ+動詞」で表現する状況があります。英語なら「see・look・watch」、中国語なら「見・視・観」のように動詞を使い分けるのに対して、日本語は「ちらりと見る」「ぼんやり見る」「じろじろ見る」などのオノマトペを用いることで状況をより簡単に、分かりやすく表現していると考えられます。

近年は教育・スポーツ・医療・料理・広告等々の諸分野で感性に訴えるオノマトペが注目され、指導や伝達の言葉として活用する研究も進められています。例えば、痛みを表す表現として、「キリキリ」「ズキズキ」「ピリピリ」「ジンジン」「チクチク」「ガンガン」等の様々なオノマトペがあり、実際に痛みを説明したり理解させたりする際に大変役に立ちます。

ちょっと不思議な言葉「オノマトペ」の世界にとっぷり浸って楽しんでみてください。

田中 雅和 教授

「ちらりと見る」
「ぼんやり見る」
「じろじろ見る」

国立大学法人兵庫教育大学 教材文化資料館 2021年度後期展

R3.10.1 - R4.2.28

(きんようび)

(げつようび)



Instagramアカウント

アクセス



車：中国自動車道滝野社ICから約15分
バス：JR三宮駅・明石駅・姫路駅から
神姫バス「社営業所」乗り換え
「兵庫教育大学前」下車
電車：JR加古川線「社町駅」から
神姫バス「兵庫教育大学前」下車
※教材文化資料館は附属図書館内に附設

お問い合わせ

国立大学法人兵庫教育大学
教材文化資料館

〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1
TEL：0795-44-2362 (平日9:00 - 17:00)
FAX：0795-44-2364
HP：http://www.hyogo-u.ac.jp/museum/